

## 令和8年度事業計画

我が国の経済は緩やかに回復しているものの、物価上昇の影響による個人消費の停滞や最低賃金の引き上げのほか中東情勢の影響など、事業運営に影響を及ぼす要因も依然として存在しております。このような社会経済情勢の中、当センターは公益法人としての社会的責任を果たしつつ、健全で安定的な運営を確保しながら、地域社会の要請に応える事業を着実に推進してまいります。

令和8年度におきましては、公益目的事業の充実と効率的な財務運営の両立を基本に据え、持続可能な事業運営体制の確立を目指します。受託事業収入、包括的契約に係る収益及び労働者派遣事業等については、最低賃金の動向や発注者の状況を十分に勘案し、適正な契約単価の確保に努めるとともに、安定的な受注の確保と就業機会の拡大を図ってまいります。

安全就業の徹底につきましては、引き続き最重要課題として位置付け、事故の未然防止対策の強化、安全意識の向上を図る研修の充実並びに就業環境の点検・改善に継続的に取り組みます。会員が安心して就業できる環境を整備することは、センターの信頼確保の基盤であり、今後も安全管理体制の強化に努めてまいります。

さらに、会員の技能向上及び資質向上を目的とした研修を開催し、地域ニーズに対応できる人材の育成を図るとともに、広報活動及び入会説明会により会員の拡大に取り組みます。

加えて、令和8年度に予定しているシルバー人材センター事業用システムの更新を着実に実施し、業務継続性の確保及び機能改善を図ります。デジタル化の推進により、事務処理の効率化、情報共有の迅速化及びサービスの向上を実現し、組織基盤の強化と安定的な事業運営につなげてまいります。

今後とも収入の確実な確保と支出の適正管理を徹底し、計画的かつ効率的な財務運営に努めながら、会員の生きがいの充実と地域社会への貢献を一層推進し、地域から信頼され期待されるセンターとしての役割を果たしていくよう努めてまいります。

### 1 就業機会の確保及び組織的に提供する事業（定款第4条(1)）

当センターの取り組みに加え、市内の関係団体との連携・協働を図り、多様な雇用・就業機会の創出に努めます。



### 2 就業機会を確保するための公の施設の指定管理業務（定款第4条(2)）

「高齢者生きがいセンター太陽の家」をはじめ「福谷太陽の家」、「東山太陽の家」の3施設における事業を推進するため、施設及び設備の適正な維持管理に取り組み、利用者の利便性向上に努めます。



### 3 就業を希望する高齢者のための職業紹介事業（定款第4条(3)）

高齢者が多様な働き方を実現できるよう、請負・委任や派遣に加えて、職業紹介事業も活用し、求人企業と就業希望者のマッチングを推進し、高齢者が活躍できる場の提供に努めます。



#### 4 就業を希望する高齢者のための労働者派遣事業（定款第4条(4)）

高齢者が多様な働き方を実現できるよう、請負や委任では対応が困難な場合には、労働者派遣事業を活用し、求人企業と就業希望者のマッチングを推進し、高齢者が活躍できる場の提供に努めます。



#### 5 就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会を行う事業（定款第4条(5)）

複雑化する社会のニーズに応えるため、就業に必要な講習会を計画的に実施します。知識の習得のみにとどまらず、実践的な演習や実技を取り入れた講習を行うことで、会員の技能の向上に努めます。



#### 6 就業に関する調査研究及び相談を行う事業（定款第4条(6)）

近隣市町村のシルバー人材センターと連携し、先進的な取組事例の情報共有及び調査研究を行うとともに、各種研修会等へ積極的に参加し、知識の習得及び情報収集に努め、新規事業の創出と事業の充実を図ります。また、就業に関する相談にも積極的に応じ、個々のニーズに応じた適切な助言及び支援の提供に努めます。



#### 7 安全かつ適正な就業を推進するために事故防止の啓発等を行う事業（定款第4条(7)）

会員が安全かつ健康的に就業できるよう、安全・適正就業対策基本計画に基づき実施計画を策定し、正しい知識と技能の習得・啓発、就業環境の改善、危険箇所の除去など安全対策の強化を進めることで、傷害事故や賠償事故の防止に努め、事故ゼロの実現を目指してまいります。



#### 8 センターの活動等について周知を図る事業（定款4条(8)）

シルバー人材センター事業の普及啓発を図るため、ホームページ、Instagram、市広報紙、チラシの配布、有料広告への掲載等を活用するとともに、市内で開催される各種イベントに積極的に参加し、事業の周知に努めます。



#### 9 その他センターの目的を達成するために必要な事業（定款第4条(9)）

デジタル環境の活用支援を推進するとともに、Smile to Smile、SNS、LINE等を活用し、会員と事務局における連絡をペーパーレス化することで、事務の効率化、迅速化を図ります。

